

授業 科目	CE2B15	2単位	選択	講義	2学年前期	担当 教員	教授 川田 公仁						
	教育方法論												
授業の概要	① これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。 ② 教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付ける。 ③ 情報機器を活用した効果的な学習や適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付ける。												
到達目標					学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 教育方法論として、次に挙げる項目を中心に理解している。 基礎的理論と実践、教育方法の在り方（主体的・対話的で深い学びの実現等）、 授業・保育を構成する基礎的要件、学習評価の基礎的な考え方						○	○	◎	◎	◎	○	○	
2. 教育の技術として、語法、板書等、授業・保育の基礎的な技術を身に付け、 目標・内容、教材・教具、授業・保育展開、学習形態、評価基準等の視点を含めた学習指導案を作成できる。						○	○	○	○	○		○	◎
3. 情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができるようになる とともに、子どもたちの情報活用力（情報モラルを含む）を育成するための 指導法を身につけている。						○		○	○	○	○	◎	○
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照													
	主 題	準備学習			本時の学習内容と到達目標						復 習		
1	幼児にふさわしい教育の方法1 ～保育という方法・環境を通して の教育～	教科書の該当箇所を読み、 不明な用語を調べておく。			幼稚園や保育所における幼児教育の基本について確認 する。						授業での設問の解答を 再チェックする。		
2	幼児にふさわしい教育の方法2 ～遊びを通しての指導～	教科書の該当箇所を読み、 不明な用語を調べておく。			①「環境を通して行う教育」を具体的事例を通して把握 する。 ② 物的環境、人的環境の意義を理解する。						授業での設問の解答を 再チェックする。		
3	幼児の主体的な生活を基盤とする 保育1 ～子どもの主体性と 保育者の意図～	教科書の該当箇所を読み、 不明な用語を調べておく。			① 幼児の主体性の育成と「見えない保育」について 考え理解する。 ② 子どもの主体性と保育者の意図について理解する。						授業での設問の解答を 再チェックする。		
4	幼児の主体的な生活を基盤とする 保育2 ～保育者の様々な役 割～	教科書の該当箇所を読み、 不明な用語を調べておく。			保育者の様々な役割について考え理解する。						授業での設問の解答を 再チェックする。		
5	遊びの中の学びを育む保育1 ～遊びと学びの関係～	教科書の該当箇所を読み、 不明な用語を調べておく。			① 幼児期における知的営み・学びを把握する。 ② 遊びの中の学びについて理解する。						授業での設問の解答を 再チェックする。		
6	遊びの中の学びを育む保育2 ～友達と関わる遊び・協同する遊 び～	教科書の該当箇所を読み、 不明な用語を調べておく。			① 遊びが育つ環境構成を考察する。 ② 不自由さから学ぶことの認識を深める。						授業での設問の解答を 再チェックする。		
7	様々な保育形態	教科書の該当箇所を読み、 不明な用語を調べておく。			① 保育形態のタイプについて理解する。 ② プロジェクト・ブローチ、ティーム保育について 理解する。						授業での設問の解答を 再チェックする。		
8	情報機器を用いた教材活用と 指導法	教科書の該当箇所を読み、 不明な用語を調べておく。			① 情報機器を用いて教材等の示し方を理解する。 ② 情報機器を用いた指導方法を理解する。						授業での設問の解答を 再チェックする。		
9	保育における評価1 ～子ども と保育に対する評価～	教科書の該当箇所を読み、 不明な用語を調べておく。			保育における評価の意義を理解する。						授業での設問の解答を 再チェックする。		
10	保育における評価2 ～保育の 省察と記録・外に開かれる評価～	教科書の該当箇所を読み、 不明な用語を調べておく。			① 保育における省察と記録方法を理解する。 ② 情報開示の意義を理解する。						授業での設問の解答を 再チェックする。		
11	幼児期の教育と小学校教育の連 携1 ～小学校との接続・連携～	教科書の該当箇所を読み、 不明な用語を調べておく。			① 幼小の連携方法を考え理解する。 ② 各教科につながる萌芽的生活を理解する。						授業での設問の解答を 再チェックする。		

12	幼児期の教育と小学校教育の連携2 ～円滑な接続のための幼小連携～	教科書の該当箇所を読み、不明な用語を調べておく。	幼小の円滑な接続のための方法を理解する。	授業での設問の解答を再チェックする。
13	家庭や地域と連携した保育	教科書の該当箇所を読み、不明な用語を調べておく。	① 保護者とのパートナーシップを考え理解する。 ② 地域資源や教育力を活かした保育を考え理解する。	授業での設問の解答を再チェックする。
14	保育におけるカウンセリングマインド1 ～生活習慣・健やかな育ちの支援～	教科書の該当箇所を読み、不明な用語を調べておく。	① 基本的な生活習慣に基づき育ちの支援方法について理解する。 ② 子どもの健やかな育ちの支援方法を理解する。	授業での設問の解答を再チェックする。
15	保育におけるカウンセリングマインド2 ～園生活が困難な子どもの支援～	教科書の該当箇所を読み、不明な用語を調べておく。	園生活に困難を抱える子どもの支援方法について考え理解する。	授業での設問の解答を再チェックする。
成績評価	受講態度（40%）、レポート（20%）、期末試験（40%） 合計 100%			
教員からのコメント	・この教育方法論は、幼稚園教諭二種免許状を取得する際の必修科目となります。 ・一人ひとりの幼児がよりよい方向へと育つように指導・援助するには、どのような保育方法が有効なのか、理論と実践の両面から考察していきます。 ・広い視野と見通しをもって子どもたちの育ちを捉え、自らの保育行為の吟味をしながら保育の知見や技能を身に付け、現場で生きる実践力につながるように学びを進めることを期待します。			
教科書	書名 幼児教育の方法 著者 小田 豊 青井倫子 発行所 北大路書房	推薦図書	書名 平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領〈原本〉（最新版） 著者 内閣府・文部科学省・厚生労働省 発行所 チャイルド社	